

## 環境省において同時公表

平成19年4月13日  
経済産業省

## 「平成18年度京都メカニズムクレジット取得事業」の結果について

京都議定書の削減約束を達成するため、経済産業省及び環境省は、平成18年度から独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO技術開発機構)に委託し、京都メカニズムを活用してクレジットを取得する事業を実施しております。この度、NEDO技術開発機構がクレジット取得契約の締結等平成18年度の事業実施結果を公表いたしましたので、お知らせいたします。

1. 経済産業省及び環境省は、平成18年度からNEDO技術開発機構に委託し、京都メカニズムを活用したクレジット取得事業を開始いたしました。
2. 本事業の実施に当たっては、京都議定書目標達成計画において、「原則公募を行うことなどにより、クレジットの取得に伴うリスクの低減を図りつつ費用対効果を考慮したクレジットの取得を図る」とされており、これを踏まえて平成18年7月からNEDO技術開発機構が事業を実施し、約638万トン(二酸化炭素換算)のクレジット取得契約を締結いたしました。
3. クレジット取得契約の詳細等につきましては、別添NEDO技術開発機構発表資料「平成18年度京都メカニズムクレジット取得事業の結果について」をご参照ください。

別添「平成18年度京都メカニズムクレジット取得事業の結果について」(NEDO技術開発機構発表資料)

(本発表資料のお問い合わせ先)  
経済産業省 産業技術環境局 京都メカニズム推進室  
担当者：石黒、高見、斎藤  
電話：03 - 3501 - 1511(内線3524 ~ 26)  
03 - 3501 - 7830(直通)

## 「平成18年度京都メカニズムクレジット取得事業」の結果について (お知らせ)

(経済産業省及びNEDO技術開発機構において同時発表)

平成19年4月13日(金)  
地球環境局地球温暖化対策課  
課長：小川 晃範(6770)  
補佐：近藤 亮太(6796)  
担当：安田 将人(6796)



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

京都議定書の削減約束を達成するため、環境省及び経済産業省は、平成18年度から独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO技術開発機構)に委託し、京都メカニズムを活用したクレジットを取得する事業を実施しております。この度、NEDO技術開発機構がクレジット取得契約の締結等平成18年度の事業実施結果を公表いたしましたので、お知らせいたします。

- 1.平成17年4月に閣議決定された京都議定書目標達成計画において、国内対策に最大限努力しても約束達成に不足する差分(基準年総排出量比1.6%)について、補足性の原則を踏まえつつ京都メカニズムを活用することとしております。このため、環境省及び経済産業省は、平成18年度からNEDO技術開発機構に政府のクレジット取得を委託し、京都メカニズムクレジット取得事業を開始いたしました。
  - 2.本事業の実施に当たっては、京都議定書目標達成計画に基づき、原則公募を行うことなど、リスクの低減を図りつつ、費用対効果を考慮したクレジットの取得を図ることとしており、平成18年度は7月からNEDO技術開発機構から年度内通年公募を実施し、約638万トン(二酸化炭素換算)のクレジット取得契約を締結いたしました。
  - 3.クレジット取得契約の詳細等につきましては、別添NEDO技術開発機構発表資料「平成18年度京都メカニズムクレジット取得事業の結果について」をご参照ください。
- ・別添「平成18年度京都メカニズムクレジット取得事業の結果について」(NEDO技術開発機構発表資料)

# Press Release

2007.04.13



(別 添)

独立行政法人  
新エネルギー・産業技術総合開発機構  
〒212-8554  
神奈川県川崎市幸区大宮町1310  
ミュージアム川崎セントラルタワー  
<http://www.nedo.go.jp>  
理事長 牧野 力

## 「平成18年度京都メカニズムクレジット取得事業の結果について」

NEDO技術開発機構は、政府からの委託により平成18年度より開始した京都メカニズムクレジット取得事業に関し、クレジット取得契約を締結するなど、以下の通り平成18年度事業を実施致しましたのでお知らせします。

### 1. 平成18年度事業の結果について

(1) 平成18年度契約結果について (詳細については別紙を参照)

平成18年7月21日からの年度内通年公募により応募があった提案等の中から、別紙のとおり契約を締結致しました。

(2) 平成18年度の政府へのクレジット移転実績総量

平成18年度の移転実績は無し。

### 2. 問い合わせ先

NEDO技術開発機構 総務部広報室 藤田、保坂 (電話) 044-520-5151

なお、本件は経済産業記者会、経済産業省新聞記者会ペンクラブ、環境省環境記者会、環境問題研究会、文部科学省内の文部科学記者会、科学記者会及び経団連会館内エネルギー記者会にて、同時に資料配付を行っております。

(備考)「NEDO技術開発機構」は、「独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構」の略称です。

各契約概要

契約締結先 (国名)	契約クレジット量 万トン(二酸化炭素換算)		契約に含まれる事業の概要		
	実施国	プロジェクト名	プロジェクトの概要		
丸紅株式会社 (日本)	200.0	30.0	インド	3MW Poultry Litter Based Power Generation Project (CDM)	養鶏場の排泄・廃棄物を燃料として発電し、メタンの大気放出防止と電力代替により、温室効果ガスを削減する。
		90.0	中国	Wahei Hydroelectric Project (CDM)	流れ込み式による水力発電を実施し、電力代替により、温室効果ガスを削減する。
		80.0	メキシコ	Ecatepec EcoMethane Landfill Gas to Energy Project (CDM)	ごみ埋立地より発生するメタンを回収・燃焼・発電し、メタンの大気放出防止と電力代替により、温室効果ガスを削減する。
ローディア ジャパン株式会社 (日本)	183.0		韓国	N <sub>2</sub> O Emission Reduction in Onsan, Republic of Korea (CDM)	アジピン酸の製造過程で副生成物として生成する N <sub>2</sub> O (一酸化二窒素)を熱分解することにより、温室効果ガスを削減する。
陝西興龍熱電有限公司 (中国)  西安大唐製薬集団有限公司 (中国)	145.6		中国	Comprehensive utilization of waste coal gas for electricity generation project in Xinglong Cogeneration Co. Ltd (CDM)	製鉄工場における余剰高炉ガス・転炉ガスを利用して発電し、電力代替により、温室効果ガスを削減する。
Carbon Resource Management Ltd. (英国)	109.8		中国	Shandong Yucheng Xinyuan Biomass Heat & Power (CDM)	トウモロコシの芯を原料とした化学品製造残渣を燃料として発電し、電力代替により、温室効果ガスを削減する。

注) プロジェクトの環境に与える影響及び地域住民に対する配慮について、各プロジェクト関係者からヒアリング等を行うとともに、必要に応じて現地調査を行っております。  
(詳細: [http://www.nedo.go.jp/informations/other/190413\\_1/190413\\_1.html](http://www.nedo.go.jp/informations/other/190413_1/190413_1.html))